

平成25年12月の地震活動及び火山活動について

平成25年12月の地震活動及び火山活動について解説します。

[地震活動]

・全国の地震活動

12月31日10時03分に茨城県北部の深さ7kmでM5.4の地震が発生し、茨城県高萩市たかはぎしで最大震度5弱を観測しました。

全国で震度3以上を観測した地震の回数は23回、日本及びその周辺におけるM4.0以上の地震の回数は95回でした。

震度3以上を観測するなどの主な地震活動の概況は別紙1のとおりです。また、世界の主な地震は別紙2のとおりです。

・「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」の余震活動

「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」の余震は、次第に少なくなってきたものの、最大震度4以上を観測した地震が4回、震度1以上を観測した地震が77回発生するなど、引き続き岩手県沖から茨城県沖の広い範囲で発生しました。

国土地理院のGNSS連続観測結果によると、引き続き東北地方から関東・中部地方の広い範囲で、徐々に小さくなってきてはいますが、余効変動と考えられる東向き地殻変動が観測されています。

(余震の見通しについて)

余震は、全体的には次第に少なくなってきましたが、本震発生以前に比べて依然として活発な地震活動が続いており、今後も継続すると考えられます。M7.0以上の大きな余震が発生する可能性は低くなってきましたが、まれに大きな余震が発生することがあります。また、最大震度5弱以上の強い揺れや、海域で発生した場合には津波が発生する可能性があります。また、比較的小さな余震でも、沿岸域や陸域で発生すると震源付近では強い揺れになることがあります。なお、余震は広い地域で発生しているため、同じ規模の余震でも発生する場所により各地の震度は異なります。

(防災上の留意事項)

引き続き余震による強い揺れに警戒してください。また、これまでの強い揺れのために地盤がゆるんでいる地域では、降雨や余震による土砂災害の発生する危険性が高まっていますので、併せて警戒してください。

また、海域で大きな余震が発生すると津波が発生する可能性があります。海岸で強い揺れを感じた場合、また、揺れを感じなくても津波警報が発表された場合には、直ちに海岸から離れ高台等の安全な場所に避難してください。

余震域の外側も含めて、常日頃から地震への備えをお願いします。

[火山活動]

桜島では、爆発的噴火を含む活発な噴火活動が継続しました。火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）が継続しており、昭和火口及び南岳山頂火口から概ね2 kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。

西之島では、海上保安庁等からの連絡によると活発な噴火活動が続きました。今後も噴火が続くおそれがあるため、西之島付近では警戒してください。

阿蘇山では、20日頃から火山性微動の振幅が次第に大きくなるなど、中岳第一火口の火山活動は高まっており、火口から概ね1 kmの範囲に大きな噴石を飛散させる噴火が発生する可能性があるとして判断し、27日10時00分に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを1（平常）から2（火口周辺規制）に引き上げました。中岳第一火口から概ね1 kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒して下さい。

霧島山（新燃岳）では、火山活動は落ち着いた状態が続いていますが、火口内に溜まった溶岩は依然高温状態にあります。火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）が継続しており、火口から概ね1 kmの範囲では弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

諏訪之瀬島では、爆発的噴火が247回発生する等、火山活動は活発な状態で経過しました。火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）が継続しており、火口から概ね1 kmの範囲では弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

八甲田山では、29日に南八甲田火山群櫛ヶ峰の東側を震源とする火山性地震が一時的に増加しました。山体周辺の地殻変動観測では2013年2月頃以降、小さな膨張性の地殻変動がみられます。噴気等の表面現象に変化はみられませんが、今後の火山活動の推移に注意してください。

蔵王山では、4日、8日及び1月3日（期間外）に火山性微動がそれぞれ1回発生しましたが、火山性地震は少ない状況で経過しました。ただちに火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められませんが、2013年1月以降、活動の高まりがみられますので、今後の活動の推移に注意してください。

伊豆大島では、21日頃から東部を主な震源とする火山性地震が増加しました。その他の観測データには、活動状態の変化を示すデータはみられないことから、直ちに噴火する兆候は認められません。

その他の火山の活動状況に特段の変化はありません。

日本の主な火山活動の概況は別紙3のとおりです。また、世界の主な火山活動は別紙4のとおりです。

注1：噴火警戒レベルには、レベル毎に防災機関等の行動がキーワードとして示されており、導入にあたっては、噴火警戒レベルの活用が地域防災計画等に定められることが条件となります。

注2：国土地理院のGNSSによる地殻変動観測については、国土地理院ホームページの記者発表資料「平成25年12月の地殻変動について」を参照願います。

<http://www.gsi.go.jp/WNEW/PRESS-RELEASE/2014-goudou0114.html>

注3：気象庁の地震活動資料には、気象庁、防災科学技術研究所及び大学等関係機関のデータが使われています。

注4：地震活動及び火山活動の詳細については、「地震・火山月報（防災編）」平成25年12月号をご覧ください。

注5：平成26年1月の地震活動及び火山活動については、平成26年2月10日に発表の予定です。